

施策評価シート【分野別施策】

施策名				関係部			
1－③		生涯学習や文化芸術活動の環境を充実する			市民部、社会教育部		
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	実績値					5年度 目標値
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度	5年度	
各種講座・講習会への参加者数（年間）	人	46,836	10,956	20,020	31,337	33,271	49,400
博物館・美術館の特別展の観覧者数（年間）	人	198,813	28,859	96,093	82,835	92,110	142,300

関連事業				
○囲碁文化振興事業○平塚文化芸術ホール管理運営事業○無形文化財保護事業○多様な学習推進事業○地域の人材発掘・活用事業○地区公民館整備事業○電子図書館事業○博物館特別展事業○博物館教育普及活動推進事業○魅力ある美術展覧会事業○美術教育の普及・体験事業				
決算額				
	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費（千円）	163,824	440,761	680,870	602,755
執行率（％）	61.16	92.68	97.25	97.98

施策の推進に向けた主な取組の「成果」
・地域住民の学習活動を支援するため、文化教養や現代的課題・生活課題等を取り上げた多様な学習機会を提供しました。また、「地域に根ざした持続可能な開発のための教育」（E S D）の取組を意識した事業を実施しました。また、四之宮公民館の建て替えに向けた実施設計、建築工事を進めました。 ・博物館でスマートフォンやタブレットで音声解説や付加情報を閲覧できるデジタル展示ガイド「ひらはく展示+」の本格運用を開始するとともに、美術館で展覧会やワークショップを開催しました。また、「ひらつか民俗芸能まつり」では、守り伝えられてきた郷土の民俗芸能を披露したほか、囲碁文化の普及と振興のため、囲碁まつりや女流棋聖戦の誘致、各種囲碁大会・教室等を開催しました。 ・電子図書館サービスは、児童書読み放題パックを導入し、市内小・中学校のタブレット端末との連携を開始しました。 ・平塚文化芸術ホールを拠点として、様々な文化芸術に触れる機会を創出するとともに、多くの交流が生まれ、中心市街地や市内外に広がるようなにぎわいを創出しました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・年齢層や地域課題に合った講座の展開、市民の課題解決意欲を高める必要があります。
- ⇒社会情勢や市民ニーズを把握するとともに、課題を自分事と捉えられる人材や意識を育てるため、E S Dの取組を意識した事業を展開します。
- ・地域の自然や文化・美術への関心を高めるとともに、無形文化財保持者、囲碁文化の担い手となる人材確保及び育成が必要となります。
- ⇒特別展や普及体験事業、ワークショップの開催及び魅力あるウェブコンテンツの開発に注力し、地域の自然や文化に関する市民の知的欲求に応え、気軽に活動できる機会を提供するとともに、演技技術の維持向上や各種囲碁教室等の開催により、新たな後継者を確保、育成します。
- ・誰もが図書に触れ、楽しめる機会を充実する必要があります。
- ⇒電子図書館サービスを広く周知し、日常において読書に親しむ機会を増やしてもらうとともに、蔵書の充実を図ります。
- ・文化芸術ホールを、文化芸術及びにぎわい創出の拠点として活用する必要があります。
- ⇒文化芸術に触れる機会及び中心市街地や市内外に広がるようなにぎわいを創出するための取組を推進します。